

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ - 23 -

2013.8.21

ジュエリー文化史サロン 感想

宮坂敦子さんより

ヨーロッパジュエリーの歴史がコンパクトに分かる、
非常に勉強になったセミナーでした。

とくに、19世紀の項で

「対面販売を主とする百貨店ができたことで買い物の形態が変化した。

既製品を販売し、それを買いたいと思うお客さんに

店へ足を運んでもらうことが大切となった。

そのため、デザイン教育が国をあげて必要という気運になり、

イギリス全国に工芸学校が作られるなど、

デザイン教育が強化された」

ということは、はじめて知ること、たいへん勉強になりました。

また、

1571年、フランソワ・クーリエ作「エリザベート・ドートリッシュ」の

肖像画は『ジュエリーの歴史』でも見たことがありますが、

これほど鮮明にジュエリーのディテイルが描かれているとは

知りませんでした。

今後、ジュエリーが描かれた絵画を見るときのヒントにします。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>

このメールアドレス(j-bunka@jj-craft.com)には返信できません。

返信の必要のある方は、以下のアドレスにメールを送ってください。

日本宝飾クラフト学院 info@jj-craft.com

幹事戸倉博之 spina@precious-chroma.com